

# 大田区職員9条の会ニュース

第112号 2016年7月29日 編集 大田区職員9条の会事務局  
大田区職員労働組合気付

「改憲勢力」2/3!?

## 「本当に今 憲法改正は必要なの？」

7月10日に参議院選挙が行われ、即日開票がされました。沖縄や福島で現職の大臣が落選した一方で、改憲勢力と言われる人たちが2/3を占めたとされています。自民党も参議院の単独過半数を占めました。マスコミは安倍政権が憲法改正に向けて進むと報道しています。今後の動きに注目していくことはもちろんですが、自治体労働者として住民の命と生活を守るという視点から「本当に今 憲法改正は必要か?」「改憲することの意味」を冷静に考える必要があると思います。

### ◆◆◆憲法に「緊急事態条項」は必要か?◆◆◆

今、改憲するとしたら「緊急事態条項」だと言われています。7月14日に開催された東京南部1000人委員会主催の集会の講演内容からこの問題について考えてみたいと思います。

#### 『 権力を縛るはずが・・・』

まず、講演した清水雅彦日本体育大学教授（憲法学）は、「憲法は、国家の最高法規として国家権力の行動の仕方や範囲を定める」ものであるという「立憲主義」に基づく憲法の位置を明らかにしました。これを前提に「戦前の憲法にはあった「緊急事態条項」が現憲法にはないのは、戦前この「緊急勅令」によって治安維持法の改定や人権の制限が行われたことの反省に立っているのではないかと語りました。そして、諸外国にはあるのに日本にはないということについて、「たとえばフランスでは大統領に非常事態措置権があり、1961年のアルジェリア危機の際に発動されている。しかし、この発動が大統領の政敵排除や地位の強化に悪用されたという批判があり、現在「同時多発テロ」などに対応しているのは「非常事態に関する法律」です。」と明らかにしました。ナチスドイツでは「緊急事態条項」を使ってワイマール憲法を換骨奪胎させました。このように本来国家を縛るはずの憲法が、緊急事態を名目に国家権力の巨大化や政敵の排除に利用されてきたという事実がはっきりしました。

#### 『 必要なのは現場力』

改憲をしてまで「テロや地震などの災害に対応すべきか?」という問題に対処するために「緊急事態条項」が必要か? という問題については「そもそも、予測不可能な自然災害と人間の力で防ぐ可能性がある戦争やテロなどを混同することは間違いである」と語りました。また「東日本大震災経験自治体の長7人のうち一人しか緊急事態条項を必要性があると答えている人はいないこと。地震などに対応するのであれば『災害対策基本法』で対応できること」などを明らかにしました。

続いて報告に立った大田区職員OBの秋元さんも、阪神淡路、東日本の震災でのボランティアの経験から「避難所の運営などのための判断力や采配する現場力が大切であり、憲法に緊急事態条項を入れる必要はない」と訴えました。

今後も、改憲に向けた動きが強まっていくと思いますが、冷静に見極めていくために職員9条の会からの発信に是非耳を傾けていただき、共に考えていきましょう。

入場無料

## 第37回 大田平和のための戦争資料展

主催：大田平和のための戦争資料展実行委員会

### 若者たちへの伝言

～ 平和な暮らしを守るためには… 知ってほしいこと ～

日本が戦争をする国になると、普通の人達の暮らしはどう変わるのか？ 希望が持てる未来をつくり出すためには、歴史の事実に学ぶことが必要です。戦争資料展は、昭和を生きてきた世代から若者たちへの伝言の場です。

語り合っていきたいと思います。ぜひご来場ください。

#### ■開催日時

8月19日（金） 13：30～18：00  
20日（土） 9：30～18：00  
21日（日） 9：30～16：30

#### ■会場

大田区民プラザ

#### ◆ タイムスケジュール ◆

19日（金）  
14:00 お話  
「代用品」に見る戦時下の暮らし  
16:00 紙芝居  
「お母ちゃん、お母ちゃん 迎えに来て」  
20日（土）  
10:00 紙芝居  
「太平洋蛸捕り物語」  
13:00 朗読  
「被爆者の詩など」  
14:30 被爆証言  
「体験記の朗読」「体験者のお話」  
21日（日）  
10:00 紙芝居  
「もう…いや わたしが見た東京大空襲」  
13:00 お話  
「少年の目で見た戦争をする日本とは…」  
14:30 紙芝居  
「フクちゃんの貯金箱」

#### ◆ 展示紹介 ◆

「これが実物だ～戦時の実物に触れて、感じよう、考えよう～」  
「満蒙開拓団から今の私たちへの問いかけ ～大田区の訓練所から満州へ」  
「原爆と人間」  
「子どもの教育は大田区では・・・」  
「憲法を知ろう、考えよう ～緊急事態条項とは？～」  
「九条の会はこんな会です」

### 今年もキセルラン

心に愛が無ければどんなに美しい言葉も相手の胸には響かない — 聖パウロの言葉より — スピーカーから候補者の名前を連呼するのってどれだけ市民の心に届いているのだろうか？

天気予報と異なり起きた時は曇っていた。今年の東京反核平和マラソン西コースは、9時50分に杉並区役所前を11名の仲間と代々木公園に向かってスタートした。

声高に反戦・平和を叫ばない。歩行者やバス停で立っている方に向かって、「おはようございます」「こんにちは」とだけ声をかける。何だろう？と興味を持ってくれればいい。が、リアクションがあるとやはり嬉しい。会釈、笑顔、「頑張ってる」。

昼食後、太陽が顔を出して気温上昇。先導ランナーから徐々に後退。最後尾のスタッフに伴走車に乗ることを優しく促される。

ゴール手前で降車。みんなと手をつないでテープを切る。来年こそ完走！

(SEALDs 調布のイケメン)